

—仙台市・光州広域市国際姉妹都市提携 10 周年記念—

氷河期の人類

石器と遺跡からみる仙台と韓国光州

仙台市と姉妹都市 10 周年を迎える韓国光州広域市周辺で発見された旧石器を紹介しながら、約 2 万年前の氷河時代の環境と人びとの交流について考えます。

Guangju

Sendai

平成 24 年 **12 月 8 日(土)～12 月 24 日(月・振休)**

会場：**地底の森ミュージアム企画展示室**

開館時間：9：00～16：45（入館は 16：15 まで）

会期中休館日：12/10、12/17

入館料：一般 400 円、高校生 200 円、小・中学生 100 円

※30 人以上で団体割引がご利用可能です。詳しくは地底の森ミュージアム HP をご覧ください。

主催：東北大学総合学術博物館 / 朝鮮大学校博物館 / 仙台市教育委員会 / 公益財団法人仙台市市民文化事業団

氷河期の人類

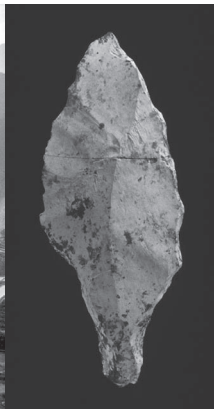
石器と遺跡からみる仙台と韓国光州

近年、韓半島南部では約1～10万年前の旧石器時代の遺跡が続々と発見され、当時の古地理・古環境のもとでの人類の活動の様子が明らかになってきています。さらに約2万～2万5千年前の、スンベチルゲ（剥片尖頭器）と呼ばれる特徴的なかたちをした石器が数多く発見されました。一方日本の東北地方では、1980年代に入って仙台市の山田上ノ台遺跡や富沢遺跡など旧石器時代の遺跡が発掘され、約2万年前の氷河期の環境や人類の活動の様相が明らかになりました。これらの遺跡から発掘された石器のかたちが、韓半島南部の石器とよく似ていることがわかってきました。



▲今回の企画展で紹介する旧石器時代遺跡

今回の企画展では、仙台市と韓国光州広域市との国際姉妹都市提携 10 周年を記念して、地底の森ミュージアムを会場とし、両市の周辺から発見された遺跡や旧石器について紹介します。石器や古環境の研究成果を通じてわかってきた約2万年前の氷河期の人びとの交流に思いをめぐらせてみましょう。



▲韓国の長陰(ジングナル)遺跡(左)と、この遺跡から出土した旧石器・スンベチルゲ(剥片尖頭器)(右)



▲左) 仙台市山田上ノ台遺跡のナイフ形石器
中) 大分県豊後大野市岩戸遺跡の剥片尖頭器
右) 山形県新庄市上三野 A 遺跡のナイフ形石器

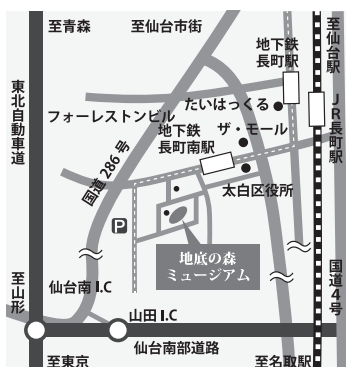
公開講演会「氷河時代の日本列島と韓半島の交流—もの作りと人の交流—」

日時：平成 24 年 12 月 15 日 (土) 14:00～15:30
 講師：柳田俊雄 (東北大学総合学術博物館館長・教授)
 会場：地底の森ミュージアム研修室
 参加：事前申込、一般 60 名 (※応募多数の場合抽選)
 申込締切：平成 24 年 12 月 8 日 (土) 必着
 申込方法：往復はがき・FAX・または E-mail に講演会名、住所、氏名、電話番号を明記し、地底の森ミュージアムまでお送りください。

関連講演「韓国後期旧石器時代後半石器群の性格」

日時：平成 24 年 12 月 22 日 (土) 13:10～14:10
 講師：李起吉 (リ・ギキル) 朝鮮大学校教授
 (東北大学総合学術博物館客員教授)
 会場：東北大学片平キャンパス 片平さくらホール
 参加：申込不要、直接会場へ ※講演は日本語通訳付き
 主催：東北日本の旧石器文化を語る会

※詳細は東北大学総合学術博物館 HP にて後日発表します。
 東北大学総合学術博物館：http://www.museum.tohoku.ac.jp



地底の森ミュージアム 仙台市富沢遺跡保存館

<アクセス>

- ・地下鉄長町南駅より西へ徒歩約 5 分
- ・JR 長町駅より西へ徒歩約 20 分
- ・東北自動車道仙台南 I.C. より車で東へ 7km



〒982-0012 宮城県仙台市太白区長町南四丁目 3-1
 TEL (022)246-9153 FAX (022)246-9158
 URL : http://www.city.sendai.jp/kyouiku/chiteinomori/
 E-mail : t-forest@coral.ocn.ne.jp